



## 省エネ基準 一次エネルギー消費量計算結果

### 1.住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等

		設計一次エネルギー消費量 [MJ/戸・年]	基準一次エネルギー消費量 [MJ/戸・年]
A. 一次エネルギー消費量 (1戸当たり)	暖房設備	37,183	31,426
	冷房設備	9,890	13,323
	換気設備	1,096	4,807
	給湯設備	15,120	25,091
	照明設備	6,218	18,979
	その他の設備	21,241	21,241
	発電設備の発電量のうち自家消費分※1	-20,971	—
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量※2	—	—
	<b>合計</b>	<b>69,777</b>	<b>114,866</b>
B. 判定	一次エネルギー消費量 [GJ/戸・年]	69.8	114.9
	<b>結果</b>	<b>達成</b>	
C. BEI	一次エネルギー消費量 (その他除く) [GJ/戸・年]	48.6	93.7
	<b>BEI</b>	<b>0.52</b>	

●本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分および設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なる

●Aの各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがある

●Bの値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため、Aの合計と一致しないことがある

※1：発電設備にはコージェネレーション設備および太陽光発電設備が含まれる

※2：コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量を指す

### 2.住宅タイプの仕様

#### ■暖冷房仕様

外皮/設備項目		外皮/設備の仕様			
外皮	評価方法	当該住戸の外表面積の合計を用いて評価する			
	総外皮面積	298.22m <sup>2</sup>			
	外皮平均熱貫流率	0.56W/m <sup>2</sup> K			
	平均日射熱取得率	冷房期	ηAC：1.6	暖房期	ηAH：2.2
	通風の利用	主居室	利用しない	その他の居室	利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない			
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない			
暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する			
	設備仕様	主たる居室	温水床暖房 敷設率：50% 床の断熱：70%		
			ルームエアコンディショナー		
		その他の居室	エネルギー消費効率の区分 (い) 小能力時高効率型コンプレッサー：搭載しない		
	熱源機	電気ヒートポンプ温水暖房機 (フロン系冷媒) 断熱配管：採用しない 配管が通過する空間：全て断熱区画内である			
冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する			
	設備仕様	主たる居室	ルームエアコンディショナー		
			エネルギー消費効率の区分 (い) 小能力時高効率型コンプレッサー：搭載しない		
その他の居室	ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分 (い) 小能力時高効率型コンプレッサー：搭載しない				

## ■換気仕様

設備項目		設備の仕様		
換気	換気方式	ダクト式第二種またはダクト式第三種換気設備		
	比消費電力	0.04W/(m <sup>3</sup> /h)	換気回数	0.5回/h
熱交換		熱交換型換気を設置しない		

## ■給湯仕様

設備項目		設備の仕様		
給湯設備	給湯設備・浴室等の有無	給湯設備がある(浴室等がある)		
	熱源機	電気ヒートポンプ給湯機(CO <sub>2</sub> 系冷媒)(JIS効率:3.3)ふろ給湯機(追焚あり)		
	配管	ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)		
	水栓	台所	2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水・水優先吐水)	
		浴室シャワー	2バルブ水栓以外のその他の水栓(小流量吐水機能)	
	洗面	2バルブ水栓以外のその他の水栓(水優先吐水)		
浴槽	高断熱浴槽を採用する			

## ■照明仕様

設備項目		設備の仕様		
照明設備	主たる居室	すべての機器においてLEDを使用している		
		多灯分散照明方式の採用	採用する	
		調光が可能な制御	採用する	
	その他の居室	すべての機器においてLEDを使用している		
		調光が可能な制御	採用しない	
	非居室	すべての機器においてLEDを使用している		
	人感センサー	採用する		

## ■発電仕様

設備項目		設備の仕様			
太陽光発電設備	パネル面数	1面			
	その1	システム容量	6.66kW	種類	結晶シリコン系
		設置方式	屋根置き形	パネル傾斜	10度
		パネル方位	真南から東および西へ15度未満		
パワコン	定格負荷効率	—			
コージェネレーションシステム		なし			



## ■太陽熱利用設備仕様

設備項目	設備の仕様
液体集熱式太陽熱利用給湯	採用しない
空気集熱式太陽熱利用設備	設置しない

## 3.参考値

### (1)設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量	消費電力量 [kWh] ※1	6,388
	ガス消費量 [MJ]	3,852
	灯油消費量 [MJ]	0
コージェネレーション設備の売電量に係る ガス消費量の控除量 [MJ] ※2		0
未処理負荷の設計一次エネルギー消費量 相当値 [MJ] ※3		3,574

※1：当該住戸で消費する電力量から、太陽光発電設備およびコージェネレーション設備による消費電力削減量（発電量のうち、当該住戸で消費される自家消費分）を差し引いた値を表記

※2：コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要したガス消費量相当量を指す

※3：未処理負荷とは、当該住戸に設置された暖冷房設備機器で処理できなかった負荷を指し、負荷を処理した暖冷房設備機器とは別の、何らかの暖冷房設備で処理したと仮定して、設計一次エネルギー消費量相当値に換算

### (2)発電量・売電量(参考値)※1

発電量 [MJ]	コージェネレーション	0	売電量 [MJ]	コージェネレーション	0
	太陽光発電	63,742		太陽光発電	42,771

※1：すべて一次エネルギーに換算した値